

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。十分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きますのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着したりした場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見えたり、突き合わせが目立つ場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合にご確認ください。

シリーズ名	代表的な注意事項
Matte (品番末尾にMTがつくもの) AE-MT DW-MT NU-MT PS-MT PW-MT ST-MT SU-MT	<p>② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意 ④ 重ね貼り注意 (NU-MT全品番、AE-1928MT、1959MTのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・艶消しの風合いを出すために表面に特殊コーティングを使用しており、構成や色柄によって取り扱いが異なりますので、以下の点にご確認ください。 ・他のシリーズと比べ、艶を抑えているため、突き合わせ貼りの開きが目立つことがありますのでご注意ください。 ・他のシリーズと比べ、濃色では傷、淡色では汚れが目立つ場合があります。特に単色 (PS-MT) では傷や汚れが目立ちやすいため、頻繁に人の手が触れる箇所での使用はご注意ください。実際の傷や汚れの程度は事前にサンプルを入手してご確認ください。但し、下記の要領でメンテナンスすることで回復しやすくなります。 傷：ある程度の傷は時間とともに復元し、更にスコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスで水拭きすると短期間で復元します。但し、硬い物などで表面の特殊コーティングが損傷すると復元しませんのでお取扱いにご確認ください。 汚れ：油脂汚れなど頑固な汚れが付着した場合は、スコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスに3M™ クリーナー 20もしくはイソプロピルアルコールを十分に湿らせて拭取ることで回復する傾向にあります。フィルム表面に直接吹きかけると跡になって見える場合があります。 ・●3次元曲面への施工はご注意ください。過度の加熱により表面の特殊コーティングが変色・変質する場合があります。 ・多選定時及び施工時の取り扱いについて、特に以下の点にご確認ください。 - 物が衝突する箇所、表面に衝撃が加わりやすい箇所での使用はご注意ください。 - PS-MTシリーズは点状の光沢違いが見られる場合がありますので、視線が特に届きやすい環境などでご使用になる場合はご注意ください。 - 施工時のスキーングなどの圧力で白い押し跡のように見える場合がありますが、上記の要領で対応してください。 - 入隅や突き合せなどで布を巻かずにスキーを使用する場合は、スキーに3M™ PTFEテープ5480, 5490を巻いて使用してください。 - Dボード工法等において保管及び輸送時にフィルム表面同士を重ね合わせると傷が付く場合がありますのでご注意ください。
AE	—
AM	<p>① 基材表面の平滑性注意 ③ 施工後の照明環境注意 ④ 重ね貼り注意 (AM-1700のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもムラが生じることがあります。●3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコン系は不具合が生じることがあるため推奨しません。 ・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの間には剥離を起こしやすいので避けてください。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にご確認ください。 ・圧着時は特にご注意ください。施工時は目安として12℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じ、施工後にフィルムが膨れる場合があります。12℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を温め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。
CA	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ④ 重ね貼り注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムに荷重がかかると押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
CH	① 基材表面の平滑性注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (CH-2117のみ)
CN	—
ET	<p>① 基材表面の平滑性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る角度、光の当たる角度、貼付下地の形状などによって、色味が変わる特徴をもった製品です。 ・他の製品よりも切断面が目立つ場合があります。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分ご注意ください。
FA	—
FE	<p>④ 重ね貼り注意 (FE-813のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・●3次元曲面には施工しないでください。また、貼り剥がしや、エッジ部の施工、冬場の施工時には注意してください。過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。
FW、FW-H	④ 重ね貼り注意 (FW-1757のみ)
HG	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地や粘着剤の僅かな凹凸も拾いやすいため、本誌掲載チップの外観と施工後の外観が異なる場合があります。事前に施工する下地へフィルムを貼付した時の外観を確認することをお勧めします。 ・屋外、高温多湿な場所、収縮する基材 (MDF など)、●3次元曲面には施工しないでください。 ・突き合わせ貼りの際、突き合わせ部が線状に目立つことがあります。事前にご確認のうえ施工するか目地取りをしてください。 ・フィルム表面の指紋などの汚れは高光沢のため目立ちますが、布で乾拭きまたは水拭きすれば除去できます。 ・フィルムに伸縮性がないので、ひずみを生じさせたり、シワを伸ばして貼り付けたりすると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・貼り剥がし作業はフィルムに折れジワが発生しますので避けてください。 ・曲げシロは6mm以上とってください。それより短い場合、施工後に浮いてくる可能性があります。
HS	—
LE	<p>② フィルム表面の傷付き注意 (LE-1551、1552のみ) ③ 施工後の照明環境注意 (LE-1171、LE-2703のみ)</p> <p>④ 重ね貼り注意 (LE-1104～1106、1108、1109のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LE-1552は●3次元曲面貼りなどで過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。

④ 重ね貼り注意

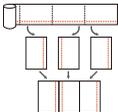
重ね貼りができません。

⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄癖のように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。



製品説明書
取扱説明書
技術資料

シリーズ名	代表的な注意事項
LW	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
LZ	—
ME	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 (ME-2351-2357、ME-2555、ME-2557のみ)</p> <p>③ 施工後の照明環境注意 (ME-2351-2357、ME-2555、ME-2557のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (ME-2351-2357、ME-2557のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ME-2561は、突合せ部の色が異なって見えることがありますので、隣合わせになるフィルムは同一エッジに合わせることをお勧めします。 
MW	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意
NU	<p>④ 重ね貼り注意 (NU-1238、NU-1240、NU-1785、NU-1786、NU-1789、NU-1791、NU-1792のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③3次元曲面へ施工の際はご注意ください (NU-1238、NU-1240、NU-1785、NU-1786、NU-1789、NU-1791、NU-1792のみ)。
OM	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意
PA	① 基材表面の平滑性注意
PC	—
PG	—
PS	<p>② フィルム表面の傷付き注意 (PS-1183のみ) ③ 施工後の照明環境注意 (PS-1183のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PS-1183は艶消しの風合いを出すため表面に特殊樹脂を使用していますので、他のシリーズに比べ耐傷性、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途、飲食店等のご採用はお控えください。また、施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。
PS-MTRC	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ecoシリーズ RCは他の3M™ ダイノック™ フィルムのスタンダード製品と製品構造が異なるため取り扱いも異なります。選定・施工するには下記の点にご確認ください。 <p><製品構造の違い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリエステル系樹脂フィルムを主素材としています。塩ビ系樹脂フィルムのような柔軟性がありません。 ・厚さ約0.1mmであり3M™ ダイノック™ フィルムの中で最も薄い製品です。厚さ約0.2mmの他のスタンダード製品に比べて約半分の厚さです。 ・製品の表面にマットコーティング加工があります。 <p><取り扱いの違い></p> <p>平滑な下地専用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地のわずかな不陸も拾いやすいため、平滑な下地専用の製品です。石膏ボードやモルタル等のパテ処理を必要とする下地や表面にエンボスなど凹凸のある下地やフィルムへの重ね貼りはお勧めしません。平滑な金属やアルミパネルなどの下地またはDボード工法をお勧めします。 <p>3次元曲面不可・伸縮性なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③3次元曲面には施工できません。伸縮性がなくシワが吸収されません。屋外、高温多湿な場所、収縮する基材 (MDFなど) には施工できません。ひずみが生じたりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れることがあります。位置合わせを正確に行いひずみが生じないように慎重に作業してください。 <p>突き合わせ貼り非推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突き合わせ貼りで重なりやすく、白く目立つ場合があります。特に濃色では白く目立つ場合があります。繋ぎ部が目立ちやすいため、目透かし貼りまたはDボード工法をお勧めします。 ・時間とともに突き合わせ部でフィルムが重なる場合があります。 <p>重ね貼り時サンディング不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本製品の上に3M™ ダイノック™ フィルムを重ね貼りする場合、予め貼り付ける面に3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。表面のマットコーティング加工をサンディングして除去する必要はありません。重ね貼りジョイントも可能ですが、プライマーがはみ出ると光沢が出て目立ちますので必要部分にのみ塗布してください。 <p>シワ・折れの発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても薄く、コシが弱いので、シワになりやすく、折れやすいので、施工の際には特にご注意ください。生じたシワや折れは加熱しても回復しません。位置合わせ時には意図せずフィルムが下地に付いてしまう場合がありますので慎重に作業してください。 <p>裂け注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裂けやすいため、施工の際には特にご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合にご確認ください。切り欠き作業をする箇所にはマスキングテープを貼ってゆっくり動かしてください。 <p>傷付き・汚れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃色では傷、淡色では汚れが目立つ場合があります。頻繁に人の手が触れる箇所や物が衝突する箇所、表面に衝撃が加わりやすい箇所等のご使用はご留意ください。実際の傷や汚れの程度は事前にサンプルを入手してご確認ください。但し、下記の内容でメンテナンスすることで回復しやすくなります。 傷:ある程度の傷は時間とともに復元し、更にスコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスで水拭きすると短時間で復元します。但し、硬い物などで表面の特殊コーティングが損傷すると復元しませんので取り扱いにご確認ください。 汚れ:油脂汚れなど強固な汚れが付着した場合は、スコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスに3M™ クリーナー 20もしくはイソプロピルアルコールを十分に湿らせて拭取ることで回復する傾向にあります。フィルム表面に直接吹きかけると跡になって見える場合があります。特に、濃色柄では白っぽく跡が目立つ傾向にあるため、使用しないでください。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本製品は屋内専用です。屋外での使用は避けてください。 ・過度の加熱により表面の特殊コーティングが変色・変質する場合があります。 ・製造上の理由により点状の光沢違いが見られる場合があります。点状の光沢違いが見られる箇所には赤ラベルを表示していますので、その箇所は使用しないでください。

シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意 (製品全般に関する注意事項は、P.9～10をご確認ください。)

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。十分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きますのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキーローラーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキーローラーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキーローラーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着したりした場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見えたり、突き合わせが目立つ場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合にご確認ください。

シリーズ名	代表的な注意事項
PT	—
RS	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。 ●3次元曲面に施工する際はご注意くださいか、施工を避けていただく製品です。 付着した汚れはすみやかに除去してください。エンボス溝に汚れが入り込み落ちにくくなります。清掃は3M™ ダイノック™ フィルムの清掃方法に従ってください(P.9「メンテナンス・清掃方法」参照)。
RT	—
SE	② フィルム表面の傷付き注意
SI	<p>③ 施工後の照明環境注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> SIシリーズは特に裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。天地の方向を合わせない場合、施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。
ST	—
TE	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意</p> <ul style="list-style-type: none"> フィルムに荷重がかかると押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
VM	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 (VM-2360-2366のみ) ③ 施工後の照明環境注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (VM-2121、VM-2122、VM-2360-2366のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもムラが生じることがあります。●3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの間には剥離を起こしやすいので避けてください。 圧着時は特にご注意ください。施工時は目安として12℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じ、施工後にフィルムが膨れる場合があります。12℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を温め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。 端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材は変性シリコーン系ノンブリードタイプまたはポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコーン系は不具合が生じることがあるため推奨しません。 VM-2363、VM-2364、VM-2365、VM-2366は、施工後のフィルムへの光の照射具合によって表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。
WG、WG-H	<ul style="list-style-type: none"> WG-1070は色の濃淡により、横方向で柄が筋状に見えるため、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えないことがありますのでご注意ください。 WG-156、WG-157、WG-166、WG-1070、WG-1812はフィルム表面に特殊な加工をしていますので、施工の際は突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りもしくは目地棒をご使用ください。
WG-GN	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工後のフィルム表面の清掃はやわらかい布を用いて、水拭きまたは中性洗剤を使用してください。硬い布や有機溶剤は表面を傷付けたり変質したりする場合がありますので、使用しないでください。

Functional Products

シリーズ名	代表的な注意事項
抗ウイルス・抗菌 (品番末尾に PVがつくもの)	<ul style="list-style-type: none"> 製品表面を強くこすった場合、白っぽく変色することがありますのでご注意ください。変色が軽微な場合、柔らかい布などで乾拭きすると目立たなくなります。 表面が汚れていると抗ウイルス・抗菌効果が発揮しません。日常の清掃は水拭きもしくは市販の中性洗剤をご使用ください。消毒が必要な場合は次亜塩素酸ナトリウムもしくは塩化ベンザルコニウムを含有する消毒液をご使用ください。エタノールでの消毒は、製品の外観が変化する場合がありますので推奨しません。
AR (品番末尾に ARがつくもの)	<p>① 基材表面の平滑性注意 (BW-AR、CH-AR、ME-AR、PA-ARのみ) ③ 施工後の照明環境注意 (AE-AR、BW-AR、FA-AR、FW-AR、FW-HAR、WG-ARのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷が付く場合があります。 見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。 フィルム表面に爪やスキーローラーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。 硬い布や有機溶剤は表面を傷付けたり変質させたりする場合がありますので使用しないでください。特にシンナー拭きによる白濁が目立つことがあるため、十分にご確認ください。 本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルム表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。 ブラックボード用途についての注意事項は、P.17のホワイトボードシリーズのその他の欄をご確認ください。 製品の表面は砥粒のような細かい粒に覆われていますので、物が接触すると表面を削り取り損傷を与えることがあります。 BW-ARは次の点にご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。 -3次元曲面へ施工の際はご注意ください。

④ 重ね貼り注意

重ね貼りができません。

⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄癖のように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。



製品説明書
取扱説明書
技術資料

シリーズ名	代表的な注意事項
<p>AR (品番末尾にARがつくもの)</p>	<p>眠り目地 納め方例とポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ARシリーズの推奨用途であるエレベーターで多用されている眠り目地の施工に関する注意点です。 眠り目地は、曲面であること、フィルムを重ねる面積が狭いことから、撥ねや浮きの懸念がある部位です。加えてARシリーズは傷防止を目的とした特殊な硬い表面を有しているため、重ね貼り時の密着が不十分になりがちです。美しい仕上げかつ不具合のない確実な施工のため、以下の内容を参考にしてください。 <p>【眠り目地の納め方例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上がりレベル、施工後の品質安定性によって以下2タイプの施工方法があります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="294 560 816 683"> <p>タイプA</p> <p>目地中央でジョイントする方法</p> <p>目地中央部で綺麗に仕上げられるため外観上のメリットがありますが、曲面形状で重ねるため撥ね/浮きのリスクが高くなります。下記【施工時のポイント】をご理解の上、丁寧な取り扱いをお願いします。</p> </div> <div data-bbox="846 560 1375 683"> <p>タイプB</p> <p>目地部を越した平滑部でジョイントする方法</p> <p>重ねる幅の目安は10mm程度です。重ねた部分の段差や端部の断面が目立ち難い柄で外観上の問題がない場合は、撥ね/浮きリスクが低く有効です。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="309 705 801 840"> <p>目地部でジョイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 綺麗な仕上がりに × 撥ね/浮きリスクあり </div> <div data-bbox="861 705 1375 840"> <p>目地部を越して平滑部でジョイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 撥ね/浮きリスクなし × ジョイント部が目立つ </div> </div> <p>【施工時のポイント】</p> <p>施工にあたり以下の点に注意いただくことで撥ね/浮きのリスクを抑え安定した美観を保つことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> サンディング及びプライマーがはみ出て外観を損傷しないよう、事前に重ねる部分以外をマスキングテープで保護することをお勧めします。 マスキングテープを使用しない場合、以下のリスクがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - サンディングがはみ出て白っぽくなる可能性がある。 - サンディングがはみ出て白っぽくなることを懸念して不十分なサンディングになり密着性が上がらない可能性がある。 - 有機溶剤の使用は非推奨であるため、プライマーがはみ出た場合、回復が困難である。 フィルムを重ねる箇所は、120番程度のサンドペーパーでフィルム表面の凹凸がなくなるまで十分にサンディングしてから、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。 重ねる狭い面積を強い力で研磨できるよう、スキージーなどにサンドペーパーを貼り付けていただくことをお勧めします。 サンディング時の削り粉を付着させたままプライマーを塗布すると接着力が低下するため、水拭きでしっかり除去した後にプライマーを塗布してください。 眠り目地部の曲率により異なりますが、できるだけヘアドライヤーで加熱しながら施工してください。フィルムを適度に加熱することでフィルムの変形を抑え、目地の曲面形状に追従させ、撥ねや浮きのリスクを軽減することができます。 特に、冬期や夜間、気温が低い時は、より丁寧に加熱してください。但し、ヒートガン等を使用すると温度が上がりすぎてフィルム表面の光沢が変化することがあります。ご使用の際は十分にご注意ください。 更に、作業前にエレベーターかご内にフィルムを準備し、ヒーター等で全体を暖めることで材料及び下地が適温になり、より安定した仕上がりになります。 貼り直し時には、下側になるフィルムとの初期密着性が十分でなく、プライマーが剥がれてくる場合がありますのでご注意ください。
<p>DG (品番末尾にDGがつくもの)</p>	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工方法に関してはP.28を参照してください。 3M™ ダイノック™ フィルムの柄面（意匠面）に粘着材があり、ガラスに貼り付けて、ガラス越しに意匠を見せる内装用の製品です。 内装用途として設計されており、直射日光が当たる箇所や屋外および屋外に面した部位にはお勧めしません。 品番により隠ぺい性が異なり、フィルム越しに壁面が見える場合やフィルムのムラが見える場合があります。背後が明るい箇所や、側面から光が背後に入る場合などでは、事前に隠ぺい性が十分か確認してください。 突き付け貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのずれが許容できるか確認してください。または突き付け貼りを避け、ガラスの割り付けを変更することをお勧めします。 ガラスへの貼り付けを目的とした製品ですが、JIS A 5759 : 2016に定める飛散防止機能はありません。 アクリルやポリカーボネートなどのプラスチックに貼付可能です。この場合には不燃認定に該当しません。 頻繁に水分と接触する場所（水中、温泉、サウナ、温水プールなど）での使用はお勧めしません。 常時高温になる環境や、密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工はできません。 接着力が強く剥離しにくいので、ガラス以外の基材に施工した場合に貼り替えが困難となります。貼り替えが必要な部位への施工はしないでください。 ロットにより色柄に多少の差異が生じることがありますので、同一面には同一ロットを使用してください。

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。十分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に除去してから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きやすいのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着したりした場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見えたり、突き合わせが目立つ場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合にご確認ください。

Functional Products

シリーズ名	代表的な注意事項																																				
DPF-100	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不燃認定は取得していません。 ・ 貼り付け下地は機能製品、EcoシリーズRCおよびMTシリーズを除く3M™ ダイノック™ フィルムのみとなりますので、ご注意ください。 ・ このフィルムを貼ると下地のフィルムの色・質感が違って見えます。事前にご確認ください。 ・ 表面エンボスの形状によっては貼り付けに適さないシリーズがあります。またエンボスのくぼみには密着しません。 ・ 空気抜けが均一にできないため、むらになって見える場合があります。 ・ 下地のフィルムが濃い場合には、空気抜けのむらが見えやすい場合があります。 ・ ウレタン製フィルムに感圧型接着剤が塗布してありますので、ライナー紙を剥がして圧着してください。 ・ 3M™ ダイノック™ フィルムに直接貼り付けてください。その場合、再剥離が可能です(プライマーは塗布しないでください)。 ・ 通常の3M™ ダイノック™ フィルムよりも伸びやすく、施工性が異なります。事前にご確認ください。 ・ 表面同士が密着しやすいのでご注意ください。 																																				
EX (品番末尾にEXがつくもの)	<p>① 基材表面の平滑性注意 (ME-EX, PA-EXのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外耐候性に優れる製品ですが、傾斜面や水平面などでご使用の場合は、フィルムの劣化が早まる場合があります。また、アルミニウム以外の下地のご使用の場合も劣化が早まる場合があります。 ・ ③次元曲面への施工の際はご注意ください。フィルムに伸縮性がないのでひずみを生じさせたりシワを伸ばしたりして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・ 低温環境では、折れジワや裂け、フィルムの折曲げ部分の白化が発生しやすくなります。屋外で施工の場合、作業環境にご留意ください。 ・ 他のシリーズに比べ、フィルムが裂けやすく、また折れジワが付きやすいのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがきっかけとなりフィルムが裂けてしまうことがあります。 ・ EXシリーズの表面はフッ素樹脂加工されていますので本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルムの表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。フィルム表面にシーリング材を使用する場合は、フィルム表面をサンディングし、シーリング材の使用法に従って使用してください。 ・ 施工の詳細とその他注意事項については、取扱説明書をご参照ください。 ・ 表面に塗装が施された溶融亜鉛めっき鋼板への施工もお勧めしません。 <p>EXシリーズ外装下地基材適合表</p> <p>表の記載は、下地表面が平滑もしくは平滑に処理されていることが前提です。下地の表面が平滑でない場合、不陸などが目立つことがあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地基材 (法定不燃下地とは異なります。)</th> <th>適正</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">鋼板類</td> <td>アルミニウム</td> <td>◎</td> <td>当社独自の促進耐候性試験により垂直面で10年間相当の耐候性を有していると判断しています。</td> </tr> <tr> <td>焼付塗装鋼板</td> <td>○</td> <td rowspan="2">アルミニウム以外の下地でご使用の場合に、フィルムの劣化が早まる可能性があります。</td> </tr> <tr> <td>チタン</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩ビ鋼板</td> <td>△</td> <td>ME、PAシリーズは変色する場合がありますので使用しないでください。</td> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき鋼板</td> <td>×</td> <td>湿度の高い環境下では、接着力が低下する可能性があります。表面に塗装が施された溶融亜鉛めっき鋼板への施工もお勧めしません。</td> </tr> <tr> <td>重ね貼り</td> <td>○</td> <td>下側のフィルム表面を#180のサンドペーパーを用いて表面のエンボスを平滑にし、特殊フッ素樹脂加工を満遍なく除去後、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。作業が適切に行われなかった場合、接着不良の原因となる場合があります。</td> </tr> <tr> <td>木材</td> <td>×</td> <td rowspan="3">含水する下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良を行う可能性があります。</td> </tr> <tr> <td>無機系ボード類</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>モルタル</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガラス</td> <td>ガラス</td> <td>×</td> <td rowspan="2">ガラス質の下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良が発生する可能性があります。</td> </tr> <tr> <td>表面がガラス質</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>次の下地に貼付した場合、接着不良を起こしますので使用しないでください。 無垢材、銅、真ちゅう、鉛、鋳、軟質塩ビ、ポリカーボネート、ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)、ナイロン、フッ素樹脂、ゴム類、シーリング剤</p> <p>水平面や傾斜面でご使用の場合、またはアルミニウム以外の下地でご使用の場合に、フィルムの劣化が早まる場合があります。</p> <p>金属などの含水しない下地においても、定常的に水が存在する環境下では下地とフィルムとの間に水が入り込み、接着不良を起こす可能性があります。</p> <p>表中の記号 ◎：適している ○：概ね適している △：一部の品番のみ適している ×：適さない</p> <p>別途、現場毎に下地調査を行ってからの施工をいただくことをお勧めしています。詳細は取扱説明書をご確認ください。</p> <p>接着性</p> <p>耐熱 (65°C) W</p> <p>耐湿 (40°C 95%Rh)</p> <p>耐ヒートサイクル (-30°C~80°C)</p> <p>耐水 (40°C)</p> <p>— アルミ — ステンレス — ガルバリウム鋼板 — チタン — ホーロー — 溶融亜鉛めっき鋼板 単位: N (25mm幅)</p> <p>適正下地基材において、各種養生試験後に接着力の低下はみられず、長期の使用に耐えうと考えられます。 ホーロー (表面がガラス質)、溶融亜鉛めっき鋼板においては、経時での接着力低下がみられるため、下地基材として不適合と判断します。</p>	下地基材 (法定不燃下地とは異なります。)	適正	備考	鋼板類	アルミニウム	◎	当社独自の促進耐候性試験により垂直面で10年間相当の耐候性を有していると判断しています。	焼付塗装鋼板	○	アルミニウム以外の下地でご使用の場合に、フィルムの劣化が早まる可能性があります。	チタン	○	ステンレス	○	塩ビ鋼板	△	ME、PAシリーズは変色する場合がありますので使用しないでください。	溶融亜鉛めっき鋼板	×	湿度の高い環境下では、接着力が低下する可能性があります。表面に塗装が施された溶融亜鉛めっき鋼板への施工もお勧めしません。	重ね貼り	○	下側のフィルム表面を#180のサンドペーパーを用いて表面のエンボスを平滑にし、特殊フッ素樹脂加工を満遍なく除去後、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。作業が適切に行われなかった場合、接着不良の原因となる場合があります。	木材	×	含水する下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良を行う可能性があります。	無機系ボード類	×	モルタル	×	ガラス	ガラス	×	ガラス質の下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良が発生する可能性があります。	表面がガラス質	×
下地基材 (法定不燃下地とは異なります。)	適正	備考																																			
鋼板類	アルミニウム	◎	当社独自の促進耐候性試験により垂直面で10年間相当の耐候性を有していると判断しています。																																		
	焼付塗装鋼板	○	アルミニウム以外の下地でご使用の場合に、フィルムの劣化が早まる可能性があります。																																		
	チタン	○																																			
	ステンレス	○																																			
	塩ビ鋼板	△	ME、PAシリーズは変色する場合がありますので使用しないでください。																																		
溶融亜鉛めっき鋼板	×	湿度の高い環境下では、接着力が低下する可能性があります。表面に塗装が施された溶融亜鉛めっき鋼板への施工もお勧めしません。																																			
重ね貼り	○	下側のフィルム表面を#180のサンドペーパーを用いて表面のエンボスを平滑にし、特殊フッ素樹脂加工を満遍なく除去後、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。作業が適切に行われなかった場合、接着不良の原因となる場合があります。																																			
木材	×	含水する下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良を行う可能性があります。																																			
無機系ボード類	×																																				
モルタル	×																																				
ガラス	ガラス	×	ガラス質の下地は端部、貼り付け基材側から水分が入り込むと接着不良が発生する可能性があります。																																		
	表面がガラス質	×																																			

④ 重ね貼り注意

重ね貼りができません。

⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄癖のように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。



製品説明書
取扱説明書
技術資料

Functional Products

シリーズ名	代表的な注意事項
FLS	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴室床専用の製品です。土足で使用する床面には使用できません。 ・エフロレンセス（白華）が発生している浴室は、水の染み出しが多く接着不良が生じる場合がありますので施工しないでください。 ・●3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・その他の製品と異なり、本製品に粘着剤が付いておりません。別途接着剤を用意してください。 ・施工の詳細とその他の注意事項については製品説明書・取扱説明書をご参照ください。
IL	<ul style="list-style-type: none"> ・拡散反射を利用するため、狭い空間ほど効果が期待できます。その反面、大空間のような場所では効果が小さくなる場合があります。 ・条件や環境により、施工空間の明るさ感および床面照度の向上効果の表れ方は異なります。
NEO (品番末尾にNEO、 TILがつくもの、 品番冒頭にFLE がつくもの)	<p>① 基材表面の平滑性注意 (FA-017NEOのみ) ④ 重ね貼り注意 (FLEのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人住宅やホテル客室のユニットバスのように水やお湯がかかるのは一時的で、その後は乾燥する場所を想定した製品です。常時高湿度や常時結露する環境への施工はお勧めしません。 ・浴室など製品を近くで見ることがある環境では多少の柄のずれが目立つことがあります。特に横柄・大柄・抽象柄では隣り合うフィルムと柄が連続して見えません。 ・水廻りで使用する場合には、施工箇所を十分に乾燥させてから施工してください。水が染み込まない下地に施工してください。下地に水が染み込むと施工後に膨れや剥がれが生じる場合があります。 ・施工の詳細とその他の注意事項については製品説明書・取扱説明書をご参照ください。 ・色の濃い製品ほど白い石鹸カスが目立つ傾向があります。また、AE-1633NEO、FA-1528NEOは表面の凹凸が深いので汚れが落ちにくい場合があります。 ・フィルム破損によるケガには十分にご注意ください。万一、破れたり剥がれたりした場合は、すぐに施工店へご連絡ください。 ・硬いモノをぶつけないでください。シャワーヘッド等硬いモノを壁や天井にぶついたり、こすったりしないでください。また、重いモノ、硬いモノを床に落としたり、引きずったりしないでください。フィルムが破損し、ケガをする恐れがあります。 ・毛染め液、ヘアマニキュア等を付着させないでください。これらを長時間付着したままにすると変色して元に戻りません。万一付着させた場合は、すぐに洗剤で洗い流してください。 <p>TIL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表面が平滑なタイル壁面専用の製品です。その他の下地には施工できません。 ・金属層を含む製品です。製品の端部で手などを切る恐れがありますので、慎重に作業をしてください。施工後には製品の端部にバリが生じていないことを確認してください。 ・●3次元曲面へ施工の際はご注意ください。金属層を含む製品のため伸縮性がありません。 <p>FLE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FRP製床パンなどの水を含まない浴室床専用の製品です。土足で使用する床面には使用できません。 ・FLEはエンボスが深く接着しないので、エンボスの上に重ねて貼ることはできません。 ・金属層を含む製品です。製品の端部で手などを切る恐れがありますので、慎重に作業をしてください。施工後には製品の端部にバリが生じていないことを確認してください。 ・●3次元曲面へ施工の際はご注意ください。金属層を含む製品のため伸縮性がありません。 ・浴室用の椅子はクッションゴムの付いているものをお使いください。クッションゴムが付いていない椅子、ゴムが劣化した椅子を使用するとフィルムが破損し、ケガをする恐れがあります。

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きますのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキージーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキージーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着したりした場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見えたり、突き合わせが目立つ場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合にご注意ください。

④ 重ね貼り注意

重ね貼りができません。

Functional Products

シリーズ名	代表的な注意事項
<p>Whiteboard (WH-111, WH-200, PWF-500, および、ブラック ボード用途)</p>	<p>① 基材表面の平滑性注意 (WH-111, WH-200, PWF-500のみ) ② フィルム表面の傷付き注意 (WH-111, WH-200, PWF-500のみ) ③ 施工後の照明環境注意 (WH-111, WH-200, PWF-500のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 下地の平滑性/不陸(凸凹)などが、筆記性/消去性や投影画像の品質に影響を与えますので、施工前に確認してください。 石膏ボードに貼る場合には、上記に加え、筆記する筆圧でボードに筆記跡が残る場合があります。また、WH-111を石膏ボードに貼った場合は不燃認定に該当しません。 フィルムへの筆記には、ホワイトボードマーカーをお使いください。それ以外のペンで書いてしまうと消えないことがあります。 イレーザーの種類により、消去性に若干の違いが出ますので、ご了承ください。特にPWF-500は、以下に挙げる推奨イレーザーをご使用ください。 メーカー：プラス 製品名：ホワイトボードイレーザー ER-44369 使用初期は、マーカーによって筆記時インクのはじきが生じる可能性があります。数回使用していただくと、はじきをなくすることができます。 筆記後長時間放置すると、消去しにくくなる場合があります。筆記後はできるだけ早く消去してください。 ●3次元曲面への施工の際はご注意ください。 フィルムを伸ばしたり、折り曲げたりすると表面層が損傷し、その部分はインクが消せなくなるので、施工時にご注意ください。 フィルム表面に傷を付けると、凹部にマーカーのインクが入り込み汚れて消せなくなりますのでご注意ください。 一般的な3M™ ダイノック™ フィルムと異なりフィルムが引き裂けやすいのでご注意ください。特にWH-200、PWF-500については、冬期の低温時にフィルムが硬く脆くなるので、フィルムに衝撃を与えないでください。また目地処理や折り曲げはフィルムを加熱するなどして貼付施工してください。 PWF-500、WH-200で重ね貼りする際、3M™ プライマー DP-900N3の初期の密着力が低いのでフィルムを貼り剥がしせず貼付するか、下側のフィルムの表面を研磨した後、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してから重ね貼り施工を行ってください。 <p>PWF-500</p> <ul style="list-style-type: none"> PWF-500はスクリーン+ホワイトボード機能を持った製品ですが、WH-111、WH-200よりも消去性は劣ります。スクリーン機能が必要ない場合はWH-111、WH-200を推奨します。 <p>WH-111</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フィルムが硬いので、2次元曲面、3次元曲面への施工はできません。折り曲げたり、巻き込んで施工したりすると、剥離することがありますので、避けてください。 施工可能な下地は平滑な鋼板のみです。 <p>ブラックボード用途 (PS-006AR/PS-007AR/PS-008AR)</p> <ul style="list-style-type: none"> チョーク以外は使用しないでください。汚れの原因になります。 チョークの種類によっては消えにくいものもあります。 チョークを使用した場合、粉が落ちますのでご注意ください。 チョークを消す際は、スコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスでチョークをよく取り除いた上で丁寧に水拭き後、乾拭きし十分に表面を乾燥させてください。 繰り返し書き消しを行うと完全にきれいな状態に戻りませんので予めご了承ください。